

年頭のごあいさつ

鞍手町長 岡崎邦博

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、輝かしく希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

町民の皆様からの負託を受け、町政に携わらせていただいて丸3年が過ぎました。この間、町長としての重責を感じつつも町行政の推進に努めて参りました。町民の皆様には温かいご支援とご理解、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。

さて令和3年を振り返りますと、一昨年に引き続き新型コロナウイルス感染症が猛威を振り、大きな影響を受けた1年となりました。

一方で、感染症ワクチンが2月から供給されるようになり、医療従事者や介護従事者などから接種を始め、5月から

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

令和4年元旦

は一般の住民の方へも順次ワクチン接種を開始しました。11月末時点で12歳以上の接種対象者1万4073人のうち1万2255人(87.1%)が2回目の接種を終えました。ワクチン接種の効果もあり、徐々にではありますが感染拡大前の生活を取り戻しつつあるように思います。ただ、多くの専門家が第6波の襲来を予想しているほか、新たな変異株も確認されるなど、完全終息を迎えるまでは引き続き感染対策を行う必要がありますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

昨年は厳しいコロナ禍ではありましたが、多くの感動を与えてくれた出来事もありました。1年遅れで開催された東京オリンピック、パラリンピックやメジャーリーグで二刀流選手として大活躍した大

谷翔平選手がアメリカンリーグの最優秀選手(MVP)を受賞したことなどです。

また、地球の気候と地球温暖化の予測に関する物理モデルへの貢献が評価され、ノーベル物理学賞を受賞された眞鍋淑郎氏の研究は、温室効果ガスによる地球規模の気候変動の仕組みと脱炭素社会への取り組みに大きな影響を与えています。

日本は脱炭素社会への取り組みとして、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロにする目標を掲げました。本町もこれを受け3月に県内6番目となるゼロカーボンシティ宣言を行いました。今後は、私の公約の一つである電力の地産地消に取り組みむことで脱炭素社会の実現を目指して参ります。

さらに未来を担う子どもたちの教育環

境の整備充実を図るため、8月に小学校の統合に向けたあり方検討委員会を設置いたしました。現在、委員を務めていただいています各小学校のPTAの代表者をはじめ関係委員の皆様からご意見をいただいているところです。

10月1日には新しく病院が開院いたしました。今後、くらで病院は地域住民の皆様への命と健康を守る中核病院として質の高い医療・介護サービスの提供を行っていくとともに、町と連携し万一の災害発生時には、福祉避難所として住民の皆様様の命を守って参ります。

今年の大きな取り組みとしては、新しく病院の東側に、新庁舎、博物館別館(石炭資料展示場等)を整備する建設工事を開始し、令和5年度末の完成を目指して事業を進めて参ります。新しく病院と

新庁舎等により住民サービスが向上し、未来に向けて安心して暮らせる利便性の高い町になるよう努めて参ります。

また、国は令和4年度までにほとんどの住民がマイナンバーカードを保有することを想定し、行政手続のオンライン化などを可能にするデジタル社会の構築を目指し、「自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション)」を推進しています。本町としてもデジタル技術を活用し、住民サービスの向上と事務の効率化が図れる自治体を目指していきます。

さらに国はデジタル社会を推進していく中で、次世代データセンターの整備を急ぎ、進めようとしています。本町はいち早くこの情報を手し、データセンターを誘致するため福岡県及び直方市と連携して企業用地の整備を進めているところです。

今、鞍手町はハードとソフトの両面において変革の時を迎えており、令和4年はその重要な年になると考えております。残された任期において目標を一つでも多く達成し、小さくても心豊かで幸福度、満足度が高く、自信と誇りの持てる町の実現のため全力を上げて邁進して参りますので、ご指導、ご鞭撻のほどお願いいたします。終わりに、新しい年が町民皆様の飛躍の年となりますよう祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。



区・隣組（地域コミュニティ）に加入しよう!!

●問い合わせ 鞍手町役場総務課安全安心係 ☎42局2111番

●予期せぬ自然災害には、救助隊よりもご近所さん

いつ起こるか分からない地震などの自然災害。予測のできない災害が起こったときに、一番頼りになるのはご近所さんです。近年各地で発生している災害の際にも、「隣人や友人に助けられた」という人が多く、遠くの親類より近くの他人。救助隊よりもご近所さんなのです。

●ご近所づきあいを見直そう

このような自然災害には、日ごろから地域でのコミュニティ活動が活発な地域ほど「共助」が有効に働き、人的な被害を最小限に食い止めることができます。地域コミュニティは、災害のときだけでなく、いろいろな場面で役に立ちます。近年、人と人とのつながりがだんだん薄れてきたと言われますが、もう一度「ご近所づきあい」を見直してみましょう。

●地域コミュニティの核になるのは昔も今も区・隣組

このような地域コミュニティの核になるのは、各地域で昔から組織されている区や隣組です。区・隣組では、地域のためにさまざまな活動をしています。安全で安心な住みよいまちづくりのために区・隣組に加入しましょう。

●区・隣組に加入するには…

町では、区や隣組への加入を希望する人に区長さんを紹介しています。引っ越しなどで区長さんが分からないときなど、役場までご連絡ください。

＊ ＊ 区・隣組の活動あれこれ ＊ ＊

●防犯灯の維持管理

犯罪のない明るく安全なまちづくりのため、町が設置している防犯灯とは別に、区や隣組が費用などを負担し、防犯灯の設置や維持管理を行っています。



●防犯活動

非行や犯罪を未然に防ぐため、防犯協会と共に防犯活動を行っています。また、児童たちの通学時間帯などに交通安全活動を行うこともあります。

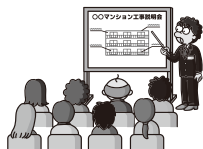
●環境美化運動

快適で美しいまちづくりのため、区域内の清掃など環境美化活動に取り組んでいます。子ども会が資源回収活動を行っているところもあります。



●地域課題の整理・対処

地域にある共通の問題への取り組みや解決のための方策などを地域の人々で話し合っています。



●親睦活動

盆踊りや敬老会、子ども会など地域の交流と親睦を深めています。また、町などが主催するスポーツ大会などにも参加し、地域同士の交流を深めています。



●情報の提供

回覧板や掲示板などで区・隣組の連絡を行ったり、県や町の広報紙、警察などその他の機関からのお知らせを配布したりするなど、生活に役立つ情報をお届けしています。



●支え合いの活動

子どもからお年寄りまで、地域のみんながお互いに見守り、支え合い、地域福祉や青少年の健全育成などの活動に取り組んでいます。



鞍手町内には42の区があり、各地で地域の特色を生かしたユニークなイベント・活動が行われています。また、地域の伝統を後世に伝えていくため、区・隣組に加入されているみなさんが先頭に立って取り組んでいます。



人と人とのつながり 地域のつながりを大切に

地域コミュニティとは、地域住民が相互に交流し合う社会のことです。